

救急の現場から

救急Q&A

●新型救急車

時代とともに機器が新しくなる中で、このたび、運用の始まった新型救急車。2,600万円をかけて導入された新型救急車には、最新の機器が装備されています。

血圧や脈拍の測定、心電図の状況を見るためのモニターは、最新のタッチパネル式となり、救急車内の空間も以前より広くなりました。一刻を争う業務に当たる救急救命士の方にとっても使いやすくなりました。

●救急車の出動状況

緊急性のない救急車の出動が全

国的な問題となり、傷病者の命を守るためにも、救急車の適正利用が呼びかけられています。

東近江管内での平成20年の救急出動件数は7,075件。そのうち、日野町の出動件数は679件となっています。急病の出動が、そのうち430件と最も多くなっています。日野町は高齢者世帯などで、すぐに自分で病院へ行けないときなど、高齢者の方からの通報が多いようです。

なお、日野町は、全国と比べると、緊急性のない出動は少なく、家族や近所の方との助け合いができていると考えられます。

Q 救急車はごいつつときに呼んだらいいのですか？

A まずは、家族で病院へ連れていくかどうかです。急病やけがの方を前にし、呼吸があるかないか、意識があるかないかを判断するのは難しいかも知れません。重い病気がどうか判断に迷ったとき、ご自身で病院へ連れていけないときには、119番通報をしてください。

また、脳卒中や心臓の病気など、緊急性の高いものは、いち早く119番通報をしてください。

・脳卒中

動きが悪い、話じづらいなど

・心臓の病気

耐え難い胸の痛みなど

Q 家族が病院へ連れていく場合、どこに聞いたらいいですか？

医療情報案内(☎233799)に電話をしてご確認ください。

A 東近江管内で、どこの病院にどのような専門医が当直しているかなど、詳しい情報を知ることができます。



新型救急車



▲最新のタッチパネル式のモニター



▲広くなった車内。身長175cmの方でも直立することができます

東近江消防本部は、2市3町(近江八幡市・東近江市・竜王町・安土町・日野町)から構成されています。管内では7台の救急車を運用していますが、日野消防署では、10月14日から古くなかった救急車に替わって、新型救急車1台が配置されました。

私たちの命を守るため、非常に重要な役割を担う救急。日野消防署の三井利浩救急救命士に、私たちの命を守る救急現場についてお聞きしました。